

## 2013 年度（平成 25 年度）医学部業績集】

### 1. 医学部医学科教育

少子超高齢化時代の始まりと再生医療を始めとする先端医療の進歩の真っ只中であって、医学教育の場ではプライマリケアから高度医療、さらには基礎研究まで、幅広く対応できる医療人を育成することが重要である。本学では平成 24 年度から教養教育の大幅な見直しが行われ、現代社会に必要とされる語学力はもちろんのこと、コミュニケーション力、批判的思考力、問題解決力など、特定の枠組みを超えてさまざまな状況の下で適用できる高次の技能の涵養を目指している。この教養教育の改革に伴い、平成 24 年度に学部専門教育のカリキュラム変更をしたが、大量の留年生を出し、低学年での学習課題の過密化に学生が対応できていない実態が明らかになった。本年度はカリキュラムを一部見直し、①入学初期の医学導入科目である人間生物学の位置づけの変更と内容見直し。②問題解決型教育であるチーム基盤型学習 TBL (TEAM-BASED LEARNING) の導入。③臨床実習の充実（国際基準に基づく医学教育認証評価制度に対応するため臨床実習期間の延長）。④少人数による医学英語教育の充実などを実施し、教育効果を期待している。また、平成 28 年度から国際基準に基づく医学教育認証評価制度に対応するためカリキュラムの変更を検討している。

（平成 25 年度 医学部長：下川 功、教務委員長：西田 教行、学生委員長：前村 浩二、  
入試委員長：青柳 潔）

#### A. 教養教育

本学では自ら学び、考え、主張し、行動する素養の涵養を目指し教養教育改革が進められている。教員から学生への一方的な知識の伝達ではなく、学生が主体的に参加する授業、課外での自学自修につながる主体的学びへの転換を図る。従来のように様々な科目から授業を選ぶのではなく、現代的な課題となっているテーマのもとに集められた授業科目群の中から興味のあるモジュールを一つ選び、そのテーマに関する多面的な見方、考え方を身につけることができるようになる。必修単位数もカリキュラム変更前の 30 単位から 38 単位へ増加し、年間履修単位数の上限も学部により設定することとなった。新入生対象の少人数教育「教養ゼミナール」は、新カリキュラムでもそのまま継続して学部毎に開講している。

#### B. 専門教育

平成 24 年度のカリキュラム変更後も従来通り 1 年次では、教養教育授業日が週 3 日間、専門教育授業日が週 2 日間となった。従来の 1 年次専門教育「人間生物学」に加えて生

学や遺伝学、さらに組織学、解剖学の一部が 2 年次専門科目から 1 年次専門科目に移行した。また、「細胞生物学」、「医学統計学」、「原爆医学概論」、「医学は長崎から」などは学部のもジュールとして教養教育へ移行した。人間生物学では大量不合格者が出た事から、教務委員会に於いてその原因分析をおこない対策を検討した。

長崎大学医学部医学科の特色ある教育である「医と社会」では、従来通り医学科・保健学科の共修の授業を企画した。また、新カリキュラムでは 3 年次、4 年次に問題解決型教育であるチーム基盤型学習 TBL (TEAM-BASED LEARNING) を導入した。さらに国際的に活躍できる医師の養成を目指して少人数による医学英語教育を行っている。導入より 2 年がたち、問題点を整理解決するために医学英語ワーキンググループを教務委員会のもと組織し、英語教育の一貫性に関する検討を開始した。3 年次のリサーチセミナーは、基礎教室に学生が配属され 10 週間にわたり配属教室のテーマについて研究活動が行われている。臨床実習協定締結施設は 2 施設増加 (全 78 施設) し、臨床教授等の人数は平成 25 年度 53 名であった。平成 25 年度の卒業生は 98 名で新卒者の国家試験合格率は 96.9%であった。

## C. 共用試験

本年度は昨年度と同様に「臨床実習開始前の共用試験」の問題作成と共用試験が行われた。共用試験とは、知識・技能・態度をコンピューター試験 (CBT) と客観的臨床能力試験 (OSCE) の二本立てで評価するものである。CBT 実施に向けて本学にも問題作成が依頼され、CBT 問題作成委員会を組織して問題作成及びそのブラッシュアップを行った。また、CBT は、共用試験実施機構からの派遣監督者の出席のもと、平成 26 年 1 月 15 日に実施し、再試験は 2 月 20 日に行われた。CBT については、次年度から合格判定基準をより厳しくし、正答率 60%以上から能力値 (IRT 値) 43 以上に変更をすることとした。OSCE は、4 年次後期科目「診断学」の試験として平成 26 年 2 月 3 日に実施した。この共用試験は 4 年次から 5 年次への進級要件となっている。

(文責：医学部医学科 教務委員長 西田 教行)

表1 平成25年度 医学部医学科教員の全学教育への参画

A. 教養教育授業科目担当の医学部医学科教員

分野	授業科目名	担当教員
教養ゼミナール科目	教養ゼミナール	大山 恭司、岡本 圭史、福田 智美、井上 圭太、曾山 明彦、今村 圭文、土谷 智史、石橋 大輔
健康・スポーツ科学科目	健康科学	玉井 慎美
テーマ	【精神医学と現代社会】	
モジュール I	人体の構造と機能	弦本 敏行、松本 逸郎、蒔田 直昌、嶋田 敏生
	細胞と放射線	永山 雄二、田中 邦彦、荻 朋男、高村 昇
	遺伝子と生命	中島 正洋、鈴木 啓司、光武 範吏、三浦 史郎
モジュール II	免疫と病気	由井 克之
	エイズと性感染症	西田 教行
	話題の先進医学	工藤 崇
	幹細胞と再生医療	李 桃生
テーマ	【心身の健康と生命】	
モジュール I	人体の構造と機能	蒔田 直昌、松本 逸郎、嶋田 敏生、佐伯 和信
	栄養とは何か	青柳 潔、安部 康代
	遺伝子と生命	吉浦 孝一郎、木下 晃、井原 誠、浦田 芳重
モジュール II	スポーツ医学	安武 享、尾崎 誠、高島 美和
	男と女の脳科学	篠原 一之、土居 裕和、西谷 正太、木原 敏晴
	ライフサイエンスとメンタルヘルス	小澤 寛樹、今村 明、黒滝 直弘、木下 裕久
	性と命	三浦 清徳、井上 統夫、吉田 敦
	老化と死	下川 功、池松 和徳

B. 教養教育関連委員会の医学部医学科委員

委 員 会	委 員
教養教育実施専門部会	西田 教行
モジュール科目小委員会	安武 亨
	西田 教行
評価・FD教育改善専門部会	安武 亨

表2 平成25年度 1～6年次授業科目(系)責任者

学年	授業科目	責任者
1年次	医と社会	安武 亨
	人間生物学	蒔田 直昌
	生体分子系	伊藤 敬
	人体構造系Ⅰ	弦本 敏行
	分子遺伝系	吉浦 孝一郎
	神経・感覚器系Ⅰ	森 望
	発生・組織系Ⅰ	小路 武彦
	内臓機能・体液系Ⅰ	蒔田 直昌
	プレリサーチセミナー	西田 教行
	医学ゼミ	西田 教行
医学英語	Luc Loosveldt, Jim Briganti	
2年次	人体構造系Ⅱ	弦本 敏行
	発生・組織系Ⅱ	小路 武彦
	動物性機能系	篠原 一之
	発生・組織系	小路 武彦
	動物性機能系	篠原 一之
	内臓機能・体液系Ⅱ	蒔田 直昌
	医と社会	安武 亨
	神経・感覚器系Ⅱ	森 望
	感染症系	西田 教行
	免疫系	由井 克之
	病理総論系	下川 功
	腫瘍系	松山 俊文
	基礎医学TBL	西田 教行
	プレリサーチセミナー	西田 教行
医学ゼミ	西田 教行	
医学英語	Luc Loosveldt, Jim Briganti	
国際医療英語	Luc Loosveldt, Jim Briganti	
3年次	医と社会	安武 亨
	感染症系	西田 教行
	免疫系	由井 克之
	環境因子系	工藤 崇
	薬理系	田中 邦彦
	病理総論系	下川 功
	病理各論系	下川 功
	分子病態系	永山 雄二
	腫瘍系	松山 俊文
	血液・リンパ系	宮崎 泰司
	循環器系	前村 浩二
	呼吸器系	河野 茂
	内分泌・代謝・栄養系	川上 純
	プレリサーチセミナー	西田 教行
	リサーチセミナー	西田 教行
	医学ゼミ	西田 教行
医学英語	Luc Loosveldt	
国際医療英語	Jim Briganti	

学年	授業科目	責任者
4年次	医と社会	安武 亨
	脳・神経系	中村 龍文
	運動系	尾崎 誠
	消化器系	中尾 一彦
	腎泌尿器系	酒井 英樹
	生殖系	増崎 英明
	視覚系	北岡 隆
	耳鼻咽喉口腔系	高橋 晴雄
	免疫・アレルギー疾患系	川上 純
	社会医学系	青柳 潔
	皮膚系	宇谷 厚志
	精神系	小澤 寛樹
	小児系	森内 浩幸
	感染症系	河野 茂
	法医学系	池松 和哉
	診断学	大園 恵幸
	放射線医学	上谷 雅孝
臨床検査医学	柳原 克紀	
外科治療学	江口 晋	
医学ゼミ	西田 教行	
アドバンスリサーチセミナー	西田 教行	
5年次	臨床疫学・医療情報学	大園 恵幸・本多 正幸
	臨床薬理学	佐々木 均
	臨床総括講義	西田 教行
	内科総括講義	河野 茂
	精神神経科総括講義	小澤 寛樹
	小児科総括講義	森内 浩幸
	外科総括講義	江口 晋
	整形外科総括講義	尾崎 誠
	泌尿器科総括講義	酒井 英樹
	眼科総括講義	北岡 隆
	産婦人科総括講義	増崎 英明
	脳神経外科総括講義	永田 泉
	形成外科総括講義	平野 明喜
	心臓血管外科総括講義	江石 清行
東洋医学	田中 邦彦	
総合病理学	中島 正洋	
PBLチュートリアル	西田 教行	
臨床実習	上谷 雅孝	
アドバンスリサーチセミナー	西田 教行	
6年次	臨床総括講義	西田 教行
	卒前集中講義	西田 教行
	高次臨床実習	大園 恵幸
	アドバンスリサーチセミナー	西田 教行

表3 平成25年度 後期「リサーチセミナー」

教室名	指導教官	研究テーマ	受講学生数
神経形態学(解剖1)	大山 恭司 森 望	ラット海馬神経樹状突起の維持におけるJNKの役割	1
神経形態学(解剖1)	安田 邦彦 森 望	HDAC6によるオートファジー誘導シグナルへの影響	1
神経形態学(解剖1)	安田 邦彦 森 望	HDAC6のシャペロン介在性オートファジーにおけるHSC70への関与	1
肉眼解剖学(解剖2)	弦本 敏行 岡本 圭史 分部 哲秋 佐伯 和信	腕神経叢領域における脊髄神経前根・後根の肉眼解剖学的検討	1
肉眼解剖学(解剖2)	弦本 敏行 岡本 圭史 分部 哲秋 佐伯 和信	胸腹部大動脈の変形の要因とその影響	1
肉眼解剖学(解剖2)	弦本 敏行 岡本 圭史 分部 哲秋 佐伯 和信	膝関節における関節軟骨変性および加齢性変化の観察	1
肉眼解剖学(解剖2)	弦本 敏行 岡本 圭史 分部 哲秋 佐伯 和信	ヒト心臓中隔における灌流領域の観察	1
組織発生解剖学(解剖3)	小路 武彦 福田 智美 遠藤 大輔	マウス卵管上皮内浸潤細胞の動態解析	1
組織発生解剖学(解剖3)	小路 武彦 福田 智美 遠藤 大輔	組織切片におけるmiRNA検出法の検討:非放射性オリゴDNAプローブとLNAプローブの実用性の比較検討	1
組織発生解剖学(解剖3)	小路 武彦 福田 智美 遠藤 大輔	マウス精巣切片におけるmiR-34cの検出法と発現動態の解析	1
組織発生解剖学(解剖3)	小路 武彦 福田 智美 遠藤 大輔	マウス正常耳介皮膚での上皮細胞増殖制御機構における角化細胞増殖因子(KGF)の関与	1
組織発生解剖学(解剖3)	小路 武彦 福田 智美 遠藤 大輔	マウス精巣におけるmiR-34c機能阻害の影響	1
組織発生解剖学(解剖3)	小路 武彦 福田 智美 遠藤 大輔	UV照射アポトーシス誘導におけるmiR-34cの関与について	1
分子生理学(生理1)	蒔田 直昌	家族性洞不全症候群に同定された新規Naチャンネル変異の機能解析	1
分子生理学(生理1)	蒔田 直昌	Myopalladin遺伝子のバリエーションと洞不全症候群の関連解析	1
分子生理学(生理1)	辻 幸臣	Electrical stormを呈する家兎モデルにおける遅延NA+電流阻害薬ラノラジンの効果	1
神経生理学(生理2)	篠原 一之	超音波成分の生体への影響	1

教室名	指導教官	研究テーマ	受講学生数
神経生理学(生理2)	篠原 一之	テストステロンと脳機能活動(注意能力・記憶能力)の関係	1
神経生理学(生理2)	掛山 正心	miRNAの定量方法の検討	1
神経生理学(生理2)	土居 裕和	肌質感の性的II型性に関する実証的検証	1
神経生理学(生理2)	土居 裕和	自己顔への注意定位の思春期発達	1
神経生理学(生理2)	西谷 正太	思春期の性成熟が社会性低下に及ぼす影響とその遺伝的リスク要因の探索	1
神経生理学(生理2)	末神 翔	ASDにおける社会的コミュニケーション障害	1
生化学	相原 仁 伊藤 敬	マラリア原虫におけるヒストンユビキチン化を制御する酵素の探索	1
生化学	水崎 博文 伊藤 敬	ヒストン変異と癌化	1
生化学	中川 武弥 伊藤 敬	未分化細胞におけるOCT4/SOX2の遺伝子転写制御メカニズムの解明	1
生化学	土井口 真康 伊藤 敬	ヒストンH2Aアセチル化に関与するASNAの遺伝子転写調節における機能の解析	1
薬理学	有賀 純	脳血管ペリサイトにおけるZicファミリー遺伝子の発現と、機能についての考察	1
薬理学	中川 慎介	多発性硬化症治療薬(FTY720)のBlood Brain Barrierに対する影響	1
薬理学	巽 理恵	サルES細胞由来神経前駆細胞の血液脳関門のバリア機能に与える影響	1
探索病理学(病理1)	下川 功 小松 利光	DRはNpy依存的に肝臓の腫瘍プロセスを阻害するか？	1
探索病理学(病理1)	下川 功 小松 利光	マウス神経幹細胞の維持における食事制限とNPYの役割	1
探索病理学(病理1)	林 洋子	アポクリン上皮の構造異型と核異型、および筋上皮細胞の有無について	1
探索病理学(病理1)	森 亮一	皮膚創傷治療過程におけるmiR-223の機能解析	1
探索病理学(病理1)	森 亮一	mir-142の機能解析と皮膚創傷治癒における役割	1
探索病理学(病理1)	Seongjoon Park	老化に伴う脂肪組織機能障害時におけるNeuropeptide Y (NPY)の機能解析	1

教室名	指導教官	研究テーマ	受講学生数
臨床病態病理(病理2)	福岡 順也	3D pathology tounveil fibrovascular framework as a minimal unit of the lung connecting to emphysema	1
臨床病態病理(病理2)	福岡 順也	同質性肺炎合併肺癌における予後診断マーカーの探索	1
臨床病態病理(病理2)	福岡 順也	膠原病関連性間質性肺炎と特発性間質性肺炎の病理学的鑑別点の検討	1
臨床病態病理(病理2)	福岡 順也	慢性過敏性肺炎における特異的病理組織所見の同定	1
臨床病態病理(病理2)	中山敏幸	肝内胆管癌におけるバイオマーカーとしてのANGPTL4の有用性	1
臨床病態病理(病理2)	田畑 和宏	蜂巣肺の診断一致性と臨床データとの関連	1
臨床病態病理(病理2)	木下 直江	肝細胞癌の核異型度と核分裂像数の相関	1
公衆衛生学	青柳 潔	今後の日本の公衆衛生システムについて～アメリカ疾病予防管理センターに学ぶ～	1
公衆衛生学	安部 恵代	運動器疾患の疫学 ～住民健診データを統計学的に検討する～	1
公衆衛生学	有馬 和彦	ビタミンD受容体遺伝子多型の血圧に与える影響	1
公衆衛生学	西村 貴孝	高所環境における活動の安全性	1
免疫機能学	由井 克之	マラリア原虫感染肝細胞に対してクラスターを形成するT細胞の抗原特異性の解析	1
免疫機能学	都田 真奈	マラリア感染防御におけるメトホルミンの効果	1
免疫機能学	木村 大輔	マラリア抗原に対する免疫記憶について	1
免疫機能学	木村 大輔	マラリア原虫感染中における抗原特異的CD4T細胞の誘導条件の検討	1
法医学	池松 和哉	アルコールの生体への影響	1
法医学	池松 和哉	クロルプロマジン投与時の心臓における遺伝子発現動態並びに蛋白発現解析	1
法医学	池松 和哉	拘束ストレスによる生体への影響	1
原研病理	三浦 史郎 中島 正洋	原爆被爆者の腫瘍バンクの拡散抽出・分注保存について	1
原研病理	三浦 史郎 中島 正洋	原爆被爆者腫瘍バンクの組織収集・保存 ～臨床病理学的特徴について～	1
原研病理	七條 和子	甲状腺がんと骨髄細胞の関与	1



教室名	指導教官	研究テーマ	受講学生数
原研病理	松山 睦美 中島 正洋	甲状腺濾胞上皮の慢性期の放射線応答に対する年齢影響	1
原研病理	松田 勝也 中島 正洋	多臓器神経内分泌腫瘍の分子標的治療に関連した分子異常の解析	1
原研放射	岡市 協生	放射線によるマイクロRNAの誘導	1
原研放射	井原 誠	DNA二重鎖切断への相同組み換え修復(HR)の働きを解析	1
原研幹細胞	小野 悠介	骨格筋Notchを標的にしたサルコペニア予防・治療法開発の基礎研究	1
原研幹細胞	浦田 芳重	組織幹細胞の酸化ストレスに対する制御機構	1
原研幹細胞	後藤 信治	がん幹細胞マーカーの発現と抗がん剤耐性との関連性	1
原研幹細胞	李 桃生	低線量放射線被ばくによる骨髄幹細胞影響	1
原研国際	高村 昇	チェルノブイリ周辺地域における土壌中の放射性セシウム濃度と住民の内部被ばく線量との関連	1
原研国際	高村 昇	福島県川内村の森林における土壌と落葉の放射性セシウム濃度及び住民の被ばく線量評価	1
原研国際	林田 直美	福島県双葉郡川内村における空間線量と個人被ばく線量の評価	1
原研国際	林田 直美	福島県川内村におけるキノコの放射性セシウム濃度評価	1
原研国際	林田 直美	福島県川内村における食菌と土壌中の放射性セシウム濃度評価	1
原研遺伝	吉浦 孝一郎	マッキューンオルブライト症候群の原因遺伝子を白血球中から検出する	1
原研遺伝	木下 晃	CRISPR/Casシステムを用いた遺伝子Xへの変異の導入	1
原研遺伝	木下 晃	CRISPR/Cas9 システムによるIRF6遺伝子の改変	1
原研遺伝	三嶋 博之	公開されたヒトゲノム情報の集団遺伝学的解析	1
原研医療	鈴木 啓司	放射線被ばく組織におけるDNA損傷の評価	1
原研医療	鈴木 啓司	放射線被ばく組織におけるDNA損傷の排除	1
原研医療	鈴木 啓司	放射線治療によるがん細胞死機構の基盤的研究	2
原研医療	鈴木 啓司	放射線防護剤の探索	1
原研医療	光武 範吏	正常甲状腺のがん化におけるBMI-1の役割	1

教室名	指導教官	研究テーマ	受講学生数
原研医療	光武 範吏	甲状腺癌におけるBMI-Iの発現量の解析	1
原研分子	永山 雄二 藏重 智美	甲状腺乳頭癌および微小乳頭癌におけるDNA損傷応答について	1
原研分子	永山 雄二 嶋村 美加	バセドウ病・バセドウ病眼症マウスモデルの作製	1
原研分子	荻 朋男 中沢 由華	DNA修復機構関連疾患とその診断	1
原研分子	荻 朋男 中沢 由華	ヌクレオチド除去修復と関連疾患の診断	1
感染防御	久保 嘉直	インターフェロン誘導因子によるレトロウイルス感染抑制の解析	1
感染防御	久保 嘉直	シンシチンによる胎盤形成へインターフェロン $\gamma$ が及ぼす影響とその機序	1
感染防御	林 日出喜	種々のトリプシノーゲン遺伝子のエンテロキナーゼによる活性化の違い	1
感染防御	林 日出喜	種々のインフルエンザウイルス株におけるRIG-I活性化の違い	1
感染分子解析学	新 竜一郎	タンパク単独仮説(プリオン仮説)の検証	1
感染分子解析学	佐藤 克也	神経変性疾患のバイオマーカーの検討	1
感染分子解析学	石橋 大輔	IFN $\beta$ のプリオン感染に与える影響	1
感染分子解析学	佐野 和憲	Phos-tagを用いたセリン129リン酸化 $\alpha$ シヌクレイン定量方法の確立	1
感染分子解析学	森 剛志	血中異常プリオンの検出方法の開発	1
感染分子解析学	中垣 岳大	オートファジー活性化剤のハイスループットスクリーニング法の開発	1
病態分子疫学	中込 治 中込 とよ子 DoanHaiYen Punita Gauchan	ベトナムでのH5N1の人間への感染における疫学的特徴2003~2013	1
病態分子疫学	中込 治 中込 とよ子 DoanHaiYen Punita Gauchan	ベトナムにおけるワクチン接種年齢による接種率の変化(2011)	1
病態分子疫学	中込 治 中込 とよ子 DoanHaiYen Punita Gauchan	ベトナムにおける腸重積症と診断方法について	1
病態分子疫学	中込 治 中込 とよ子 DoanHaiYen Punita Gauchan	ベトナムにおける現在のロタウイルス動向調査と過去の調査の標本抽出の比較	1
先導セ 比較動物医学分野	大沢 一貴 山中 仁木	実験マウスから分離されたEnterococcus属菌の薬剤耐性遺伝子の解析	1

教室名	指導教官	研究テーマ	受講学生数
先導セ アイトープリソース開発分野	山内 基弘	DNA二本鎖切断同士の近接における Classical NHEJ因子の役割の解明	1
先導セ アイトープリソース開発分野	松田 尚樹 森田 直子(原放)	体内に存在する放射能に起因する内部被ばくの空間的解析	1
先導セ ゲノム機能解析分野	下崎 康治	遺伝子発現ベクターの構築と成体脳神経幹細胞の標記解析	1
先導セ ゲノム機能解析分野	木住野 達也	Chromosome Conformation Capture (3C) methodを用いたクロマチン3次元構造の解析	1
熱研 ウイルス学	森田 公一 早坂 大輔	重症熱性血小板減少症候群ウイルス(SFTSV)の系統解析	1
熱研 新興感染症学	安田 二郎 黒崎 陽平 浦田 秀造 坂部 沙織	マウス個体レベルでのインフルエンザウイルス増殖に対するヒトTetherinの効果の検討	1
熱研 細菌学	中野 政之 平山 壽哉	ピロリ菌が産生するvacuolating cytotoxin A宿主細胞内のシグナル伝達経路に及ぼす影響について	1
熱研 原虫学	矢幡 一英	熱帯熱マラリア原虫の生きた赤血球侵入型原虫の精製法の確立	1
熱研 原虫学	矢幡 一英	Liver-stage immunization of schistosome and malaria co-infected mouse	1
熱研 免疫遺伝学	平山 謙二 サマ シェリフ 柳 哲雄	シャガス病モデルマウスの全身イメージング	1
熱研 生態疫学	後藤 健介 金子 聡	ラオスにおけるHDSSを用いた人口統計調査と質問紙を用いた小児の保健栄養調査	1
熱研 生態疫学	藤井 仁人 金子 聡	Detecting geographical hotspots of adult T-cell leukemia in Nagasaki	1
熱研 国際保健学	山本 太郎 市川 智生	歴史資料を用いた江戸時代天草地の天然痘の流行の疫学研究	1
ライデン大学	小路 武彦	Infant euthanasia	1
デュルツブルグ大学	小澤 寛樹	Isolation and characterization of the human CEACAM1-binding site for HSP90	1
デュルツブルグ大学	小澤 寛樹	To search candidate genes for panic disorder	1
デュルツブルグ大学	小澤 寛樹	Change in tumors microvessel density after prolonged lysyloxidase inhibition	1

海外派遣実習生

大学名・地域	実習学生数	
ライデン大学	6	※交流協定による海外派遣
ビュルツブルグ大学	6	※交流協定による海外派遣
ハーリム大学	1	※交流協定による海外派遣
ペニンシュラ医科歯科大学	1	
合 計	14	

表4 A 平成25年度長崎大学医学部臨床実習協定締結施設

	施設名	協定年月日
1	長崎市立市民病院	平成8年5月31日
2	日本赤十字社 長崎原爆病院	平成8年5月31日
3	長崎市立病院成人病センター	平成8年6月1日
4	長崎県立大村病院	平成8年6月1日
5	社会福祉法人 長崎市障害福祉センター	平成8年6月1日
6	財団法人 長崎県総合保健センター	平成8年6月1日
7	医療法人春回会 長崎北病院	平成10年5月20日
8	江上耳鼻咽喉科医院	平成11年5月31日
9	医療法人祥仁会 西諫早病院	平成12年6月19日
10	医療法人白十字会 佐世保中央病院	平成12年7月21日
11	長崎市保健所	平成12年11月24日
12	医療法人友愛会 介護老人保健施設にしきの里	平成12年11月24日
13	医療法人清潮会 介護老人保健施設みどりの里	平成12年11月24日
14	日本海員掖済会 長崎病院	平成13年5月11日
15	阿南皮膚科医院	平成13年5月11日
16	医療法人北辰会 久保皮膚科医院	平成13年5月11日
17	国立療養所長崎病院	平成13年5月11日
18	ゆきなり・クリニック	平成13年7月10日
19	虹が丘病院	平成13年8月7日
20	医療法人昌生会 出口病院	平成14年7月18日
21	国立病院長崎医療センター	平成15年6月12日
22	佐世保市立総合病院	平成16年8月1日
23	長崎県五島保健所	平成16年8月1日
24	五島市国民健康保険三井楽診療所	平成16年8月1日
25	五島市国民健康保険玉之浦診療所	平成16年8月1日
26	岐宿町岐宿診療所	平成16年8月1日
27	山内診療所	平成16年8月1日
28	長崎県離島医療圏組合 五島中央病院	平成16年8月1日
29	長崎県離島医療圏組合 富江病院	平成16年8月1日
30	長崎県離島医療圏組合 奈留病院	平成16年8月1日
31	五島市健康政策課	平成16年9月1日
32	五島市社会福祉協議会福江支所	平成16年9月1日
33	離島医療圏組合 上五島病院	平成17年9月1日
34	小値賀町国民健康保険診療所	平成17年9月1日
35	上五島保健所	平成17年9月1日
36	新上五島町健康推進課	平成17年9月1日
37	新上五島町社会福祉協議会	平成17年9月1日
38	上五島保健所長	平成18年7月5日
39	長崎県離島医療圏組合 中対馬病院	平成19年7月2日

	施 設 名	協定年月日
40	長崎県離島医療圏組合 上対馬病院	平成19年7月2日
41	社会福祉法人幸生会特別養護老人ホーム わたづみ	平成19年7月2日
42	神田耳鼻咽喉科entクリニック	平成19年7月2日
43	重症心身障害児施設みさかえの園 むつみの家	平成19年7月2日
44	長崎県対馬保健所	平成19年7月2日
45	社団法人全国社会保険協会連合会健康保険諫早総合病院	平成19年7月2日
46	豊玉診療所	平成19年7月2日
47	長崎県離島医療圏組合 対馬いづはら病院	平成19年7月2日
48	東京都監察医務院	平成20年3月31日
49	宮崎内科医院	平成20年3月31日
50	医療法人衆和会 桜町クリニック	平成20年3月31日
51	宗教法人聖フランシスコ病院会 聖フランシスコ病院	平成20年3月31日
52	医療法人光善会 長崎百合野病院	平成20年3月31日
53	医療法人栄寿会 真珠園療養所	平成20年3月31日
54	三菱重工業（株）長崎造船所病院	平成20年3月31日
55	医療法人財団友朋会 嬉野温泉病院	平成20年3月31日
56	みちクリニック	平成20年3月31日
57	すがさきクリニック	平成20年3月31日
58	長崎市消防局	平成20年4月1日
59	三島眼科医院	平成20年6月1日
60	思案橋ソダ眼科医院	平成20年6月1日
61	和仁会病院	平成21年4月8日
62	北松中央病院	平成21年4月8日
63	ホーム・ホスピス中尾クリニック	平成21年4月22日
64	県央地域広域市町村圏組合	平成21年9月18日
65	長崎県対馬いづはら病院	平成22年4月14日
66	長崎県中対馬病院	平成22年4月14日
67	特定医療法人三校会 宮崎病院	平成22年4月14日
68	特別医療法人春回会 井上病院	平成22年4月14日
69	山根内科胃腸科医院	平成22年4月14日
70	医療法人谷川放射線科胃腸科医院	平成22年4月14日
71	医療法人社団健昌会 新里ネフロクリニック院	平成22年4月14日
72	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 済生会長崎病院	平成22年4月14日
73	医療法人清潮会 三和中央病院	平成22年4月14日
74	東京慈恵会医科大学	平成22年4月14日
75	長崎労災病院	平成23年5月1日
76	長崎県島原病院	平成23年5月1日
77	医療法人みどりが丘クリニック	平成25年6月5日
78	聖マリア病院	平成25年6月5日

平成25年度長崎大学医学部医学科臨床教授等称号付与者(施設順)

称号	氏名	実習施設名
臨床教授	ミソカミ アキナリ 溝上 明成	長崎市立市民病院
臨床教授	タケシタ サトシ 竹下 聡	長崎市立市民病院
臨床教授	イノウエ ケイジ 井上 啓爾	長崎市立市民病院
臨床教授	オニヅカ シンヤ 鬼塚 伸也	長崎市立市民病院
臨床教授	キノシタ イクオ 木下 郁夫	日本赤十字社長崎原爆病院
臨床教授	ナカシマ ムネトシ 中島 宗敏	日本赤十字社長崎原爆病院
臨床教授	ハシグチ コウジ 橋口 浩二	日本赤十字社長崎原爆病院
臨床教授	ツルタ ショウタロウ 鶴田 正太郎	日本赤十字社長崎原爆病院
臨床教授	クマガイ ケンジ 熊谷 謙治	日本赤十字社長崎原爆病院
臨床教授	ツルサキ トシフミ 鶴崎 俊文	日本赤十字社長崎原爆病院
臨床教授	クマガミ ヒデタカ 隈上 秀嵩	日本赤十字社長崎原爆病院
臨床教授	サトウ アキラ 佐藤 聡	特別医療法人春回会長崎北病院
臨床教授	ウエキ ユキタカ 植木 幸孝	医療法人財団白十字会佐世保中央病院
臨床教授	マツモト カズナリ 松本 一成	医療法人財団白十字会佐世保中央病院
臨床教授	テラダ カオル 寺田 馨	医療法人財団白十字会佐世保中央病院
臨床教授	ツミ ケイスケ 堤 圭介	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
臨床教授	フジオカ マサキ 藤岡 正樹	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
臨床教授	エ サキ ヒロノリ 江崎 宏典	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
臨床教授	マツオカ コウジロウ 松岡 陽治郎	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
臨床教授	ナガタ ヤスヒロ 永田 康浩	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
臨床講師	イズミ ヤスヒロ 和泉 泰衛	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
臨床教授	ソウダ ヒロシ 早田 宏	佐世保市立総合病院
臨床教授	カミノゴ マキオ 上之郷 眞木雄	佐世保市立総合病院
臨床教授	エグチ カツミ 江口 勝美	佐世保市立総合病院

称号	氏名	実習施設名
臨床教授	ハラ シンヂ 原 伸介	佐世保市立総合病院
臨床教授	カンダ テツロウ 神田 哲郎	長崎県五島中央病院
臨床教授	フルイ ジュンイチロウ 古井 純一郎	長崎県五島中央病院
臨床教授	シラハマ サトシ 白濱 敏	長崎県上五島病院
臨床教授	ムラサキ クニヒコ 村瀬 邦彦	長崎県中対馬病院
臨床教授	ナガサト クニヒコ 長郷 国彦	健康保険諫早総合病院
臨床教授	ツダ トシアキ 塚田 敏昭	健康保険諫早総合病院
臨床教授	ニシウラ シンゴ 西浦 義博	健康保険諫早総合病院
臨床准教授	オオバ カズオ 大場 一生	健康保険諫早総合病院
臨床教授	ヤマグチ ヒロユキ 山口 広之	健康保険諫早総合病院
臨床教授	ムラカミ マサシ 村岡 昌司	健康保険諫早総合病院
臨床教授	カンダ ユキヒコ 神田 幸彦	医療法人萌悠会 耳鼻咽喉科 神田E・N・T医院
臨床教授	フクダ マサフミ 福田 雅文	社会福祉法人聖家族会みさかえの園重症心身障害児（者）施設むつみの家
臨床教授	コンドウ タツロウ 近藤 達郎	社会福祉法人聖家族会みさかえの園重症心身障害児（者）施設むつみの家
臨床教授	フナコシ サトシ 船越 哲	医療法人衆和会長崎腎病院
臨床教授	イソモト イチロウ 磯本 一郎	聖フランシスコ病院
臨床教授	ヤベ ヨシヒロ 矢部 嘉浩	三菱重工業株式会社長崎造船所病院
臨床教授	イマムラ ナオキ 今村 直樹	医療法人良幸会思案橋ツダ眼科
臨床教授	ヒガシヤマ ケスヒト 東山 康仁	地方独立行政法人北松中央病院
臨床教授	シクワ サブロウ 宿輪 三郎	三校会宮崎病院
臨床教授	アシザワ キヨト 芦澤 潔人	済生会長崎病院
臨床教授	エウ マサオ 衛藤 正雄	済生会長崎病院
臨床教授	フジタ アキラ 藤下 晃	済生会長崎病院
臨床教授	タノキ ヒロアキ 諾岡 浩明	済生会長崎病院
臨床教授	コニシ ヒロアキ 小西 宏昭	長崎労災病院



称号	氏名	実習施設名
臨床教授	フクサキ マコト 福崎 誠	長崎労災病院
臨床教授	テラオ ヨシアキ 寺尾 嘉彰	長崎労災病院
臨床教授	スヤマ カズヒコ 陶山 一彦	長崎労災病院
臨床教授	オバタ シウ 小幡 史郎	長崎県島原病院